

## 2023年度

### ニチイキッズ下松末武保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月10日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	日々の保育の中で、保育士自身が楽しい保育を行うことを実践した。ようやく行事も通常通りに行うことができるようになり、今まで以上に子どもたちに様々な経験を促す保育を心掛けた。
子どもの発達援助	クラスミーティングを実施し、職員間で子どもの様子、援助の方向性等を周知、共有することで月齢差のある子どもたちの保育を丁寧に行ってきた。
保護者に対する支援	園内への入室や、通常通りの行事の実施により、保護者とのコミュニケーションがこまめに取りれるようになった。日々の様子を送迎時に口頭でお話しすることで、家庭と園での連携も取れるようになった。
保育を支える組織的基盤	職員のスキルアップのための内外の研修参加、SIDS 予防、不適切保育に対し全職員で取り組みを行なった。また、職員間の連携については不十分なところがあったため、次年度に向け、改善していきたい。

総評
今年度、保育の質向上、職員間・保護者とのコミュニケーション、ミーティング時間をこまめに持つことを課題としてきた。行事等を通して、保護者とのコミュニケーションをより密にしたこと、職員のチームワークの大切さも実感できた。日々の保育について、クラスのミーティング、保育計画によるねらいをより大切にするを研修にて学びなおし、年間を見通した保育につなげることができるようになってきた。また試食会を通しての保護者とのコミュニケーションや給食メニューへの関心を今まで以上に持っていたと感じている。次年度に向け、今年度振り返りミーティングで話し合ってきたことを活かし、全職員でよりよい保育を実施していきたい。